

第 38 回 由利本荘市行政改革推進委員会	
開催日時	令和 7 年 8 月 6 日（水）午前 10 時 30 分～午後 0 時 00 分
開催場所	由利本荘市役所 5 階 第 8 会議室
出席委員（敬称略）	
委 員	西 田 哲 也（公立大学法人秋田県立大学 システム科学技術学部 学部長）
委 員	三 浦 カズ子（秋田しんせい農業協同組合 理事）
委 員	三 浦 勲（由利本荘市商工会 青年部 部長）
委 員	土 田 寛 史（一般社団法人由利本荘青年会議所 理事長）
委 員	山 口 恭 正（由利本荘市社会福祉協議会 総務課長）
委 員	伊 藤 純 二（公募委員）
市出席者及び事務局	
総 務 部 長	高 橋 重 保
総務部行政改革推進課参事	森 大 樹
総務部行政改革推進課班長	鈴 木 顕
総務部行政改革推進課主査	渡 部 慧
※「1. 開会」から「5. 案件（2）」までは事務局が進行。「5. 案件（3）」以降は委員長が進行。	
1. 開会	
2. 委嘱状交付	
3. あいさつ	
・高橋総務部長よりあいさつ	
4. 委員及び事務局紹介	
・改選後初めての委員会であるため、事務局より紹介（委員～事務局）。	
5. 案件	
（1）行政改革推進委員会について「資料 1」	
・事務局から資料に基づき説明	
【質疑応答】	
なし	
（2）委員長及び副委員長の選任について	
・事務局案を提示し選任（◎委員長 西田哲也委員、○副委員長 山口恭正委員）。	
・西田委員長より就任のあいさつ	
（3）第 4 次行政改革大綱の進捗状況（実績）について「資料 2」「資料 2－2」	
・事務局から資料に基づき説明	
【質疑応答】	
（質問）資料 2 の 3 ページ以降に取組項目の一覧があり、「中止」と記載があるがどう捉えればよいか。	
例えば、施設の譲渡に関する項目だと『もう譲渡しない』ということか。第三セクターの見直し計画についても「中止」をどのように捉えればよいか。	

(回答) 施設を譲渡する取組項目が「中止」ということは、現在は指定管理の形で相手方に管理していただいている状況のまま、施設の老朽化が進み使えなくなった際には市で解体をするということ。第三セクターに関しても計画が『経営改善を進めていく』というものであったが、これ以上の経営が困難となり解散したため「中止」となった。

(質問) 資料2の2ページの進捗状況をみると「完了」の項目が100項目の内、21項目。残りの79項目の内、どのくらいの数が「完了」に移る見込みか。

(回答) 79項目の内17項目が「計画通り進んでいる」、29項目が「概ね計画通りに進んでいる」となっております。こちらに関しては目標を達成して終わりという訳ではなく、毎年度継続して取り組み常に向上を目指していくというものですので、最終年度の評価としては「完了」と見てもよろしいかと思います。

(意見) 最終的に100項目ではなく、中止を除いた81項目で評価してもいいかもしれない。

(質問) 今回の資料には昨年度の災害のことは記載されないのか。

(回答) 今回の資料に関しては、通常業務に対しての取り組みしか記載されていない。災害復旧については別途対応しており、国や県の支援を受けながら、令和8年度末までの完了を目指して準備を進めています。

(4) 第5次大綱骨子案について「資料3」

・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

(質問) 第5次行政改革大綱によって予算をどのくらい縮小できるのか。また、職員をどれだけ減らすという目標はあるか。

(回答) 具体的な数字は現在持ち合わせていない。第4次大綱についてはこれから検証を始めるが、第3次大綱の際は15～18億程度の予算が縮減された。職員数については合併時に1,500人程度いた職員が現在1,000人程度と2/3になっている。今後も職員適正化計画という計画に沿って進めていく。

(質問) 最近、由利本荘市職員の不祥事を目にする。中には仕事の頑張りすぎが原因のものもあるだろうが、周りからは「由利本荘市職員の質はそんなに悪いのか」と思われているかもしれない点について部長はどのようにお考えか。

(回答) ご指摘のとおり様々な処分案件が出ておりお詫び申し上げたいと思う。原因についても「業務内容が過酷なのでは」といった意見や「職員数を減らしすぎなのではないか」といった意見をいただいている。処分については、年に4回というスケジュールで発表しているのに加え、大きいものはその都度発表している。そのため、昔から比べると公表率も上がっており、不祥事が多いというイメージを与えてしまっている部分もある。不祥事があるのは事実なので、改めて気を引き締め、法令遵守に関する研修等も行いながら職員の質の向上に努めていきたい。また、本庁と支所の役割分担を見直しながら、効率的に、職員の負担を減らしつつ、サービスを低下させないためにはどうすればいいか検討しながら取り組んでいるところであるので、引き続きご指導いただきたい。

(質問) 関連して、働き方改革などは考えているか。

(回答) 例えば、恒常的な時間外が発生しないように始業時と終業時の窓口時間の短縮を検討している。

(質問) 業務の負担が増える一方で、民間ではパワハラやセクハラなど様々な要因から上司が部下に指導できなくなっている。また、入ってきた人もすぐに辞めて他の職場へ移っていくということもある。心の病になってしまう人もいる。市役所でもそういった問題はあるか。

(回答) 全くないとは言えず、パワハラやセクハラに関しては相手が不快に思うようなことは当然出来な

いが、業務は業務として命令しなければならない。辞めていく職員に関しては、給与の上がり幅の問題も一因かと思っている。どうすれば風通しのいい職場を築けるかというのも課題である。

(質問) 第5次大綱について、取組項目でも優先順位などはあるか。

(回答) どれも重要ではあるものの「施設関係」「業務フローの見直し」「組織機構の見直し」「デジタル化」「受益と負担の公平性」などが特に重要かと思う。

(5) 本庁・総合支所における事務・事業見直しの検討「資料4」

・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

(意見) 財政状況も含め、緊迫感を持つように説明した方がいいかと思う。

6. その他

・事務局より、次回開催予定等を説明。

7. 閉会